



第20回和歌山かがやき展

県内の特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒の作品を展示する「和歌山かがやき展」が、2月9日（木）～14日（火）の日程で、和歌山県情報交流センターBig・U「多目的ホール」で、開催されました。開会式では、

みはま支援学校がロボットを活用して、会場とみはま支援学校をつないだり、高等部生徒による音楽発表があったりと、趣向をこらした内容でした。また、会場いっぱい、968点の絵画や工作、書道等の力作がそろい、華やかな雰囲気でした。本校からは、小学部、中学部、高等部、寄宿舎から11点の作品を出品しました。どの作品も、個性あふれる素敵な作品でした。



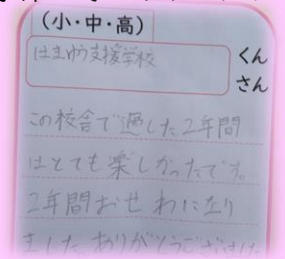
寄宿舎琢磨寮閉舎式

3月3日（金）に、はまゆう支援学校寄宿舎琢磨寮の閉舎式が行われました。寄宿舎琢磨寮は、養護学校義務化に伴い、設置され、44年間、はまゆう養護学校・支援学校と共に歩んできました。保護者会長の挨拶の後、これまでの寄宿舎の様子を映像で鑑賞しながら、本校の元寄宿指導員の堀先生から、寄宿舎が開舎した当時のことをはじめとして、これまでの寄宿舎の行事や取組について説明をしていただきました。寄宿舎琢磨寮の取組や思いは、南紀はまゆう支援学校寄宿舎に受け継がれていくことと思います。



閉校に向けた取組

閉校に向けて、さまざまな取組を行っています。昼休みには、週番の生徒が、毎日、「みなさんのはまゆう支援学校は、46年の歴史に幕をおろします。はまゆう支援学校の思い出や感謝の気持ちを褒め褒めボードに貼ってください。」と校内放送で伝えてくれます。褒め褒めボードには、子どもたちや先生方から、「はまゆうでの思い出は、小学部の時にキャッチボールをして楽しかったです。」「この校舎で過ごした2年間はとても楽しかったです。」等たくさんのメッセージが寄せられています。



南紀はまゆう支援学校 校章・校歌

南紀はまゆう支援学校の校章と校歌が完成しました。みなべ・田辺・西牟婁地域の特別な支援を必要とする子どもや保護者、学校や地域の願いや思いを校章と校歌という形に表現していただきました。未永く紀南地域の特別支援教育をリードする学校のシンボルとなっています。子どもたちが自分の将来に勇気と希望をもち社会参画する姿を描いて制作していただきました。校章は、「はまゆう」の花と学校名の「南」をモチーフとしています。また、校歌は、子どもたちが、校歌を通じて自信と誇りを持ち、母校愛を醸成するのに十分なパワーがあるものになっています。2月20日（月）には、南紀支援学校とはまゆう支援学校の両校の全校児童生徒に披露し、早速、授業で練習する様子が見られました。

